

なんちゅうだよい

第2号

郷土芸能の夕べ

12月21日、今回で5度目となる富山県立南砺平高校、郷土芸能部の皆さんによる「郷土芸能の夕べ」が開催されました。今年は26名の部員による「こきりこ」「早麦屋節」「麦屋節」が披露されました。こきりこや鍬金、ささらなどの楽器の紹介や、患者さんも楽器を手にし、曲に合わせて演奏もさせてもらいました。

部長の和田風吹さんによる進行で会場も和やかに、100名を超えるお客さまが楽しんでおられました。郷土芸能部の皆さん、ありがとうございました。

この催しには『南砺中央病院と地域をつなぐ会』のご厚志もいただいて開催させていただきました。

公立南砺中央病院

発行 平成31年1月25日



ドクター紹介



整形外科医師
村井 惇 朗

10月より公立南砺中央病院で勤務させていただくことになりました。出身は福井県であり、金沢で大学時代を過ごし、この病院に来る前は富山市内での勤務でした。幼少期よりピアノを習い、部活動は硬式テニスをしておりました。

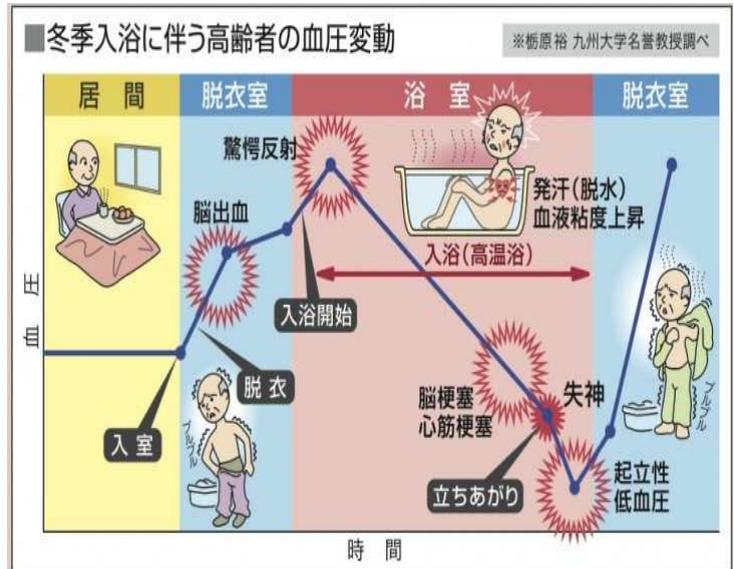
南砺市に来るのは今回が初めてですが、同期である前任の吉水医師より、当院のスタッフはとても優しく素晴らしい人ばかりで、とても居心地がよかったと聞いており、この病院で働くことを楽しみにしておりました。目の前の患者さんにどのようにしたら喜んでもらえるのかを考え、努力していきたいと思っております。若輩者であり迷惑をかけることもあるかと思っておりますが、よろしく願います。

浴室内事故 ヒートショックに注意!!

消化器科部長 野手雅幸

寒い季節、暖房の効いた暖かい部屋から寒いトイレや風呂場に行くと、震えてしまいますね。家の中での急激な温度差は血圧を大きく変動させ、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こして、命にかかわることがあります。これがヒートショックです。ヒートショック等による意識障害により浴槽に倒れ、沈み込んで溺死する、と考えられています。心肺機能停止となる人は高齢者に多く外気温が低くなる1月には、8月のおよそ11倍、その死亡者数は交通事故の死亡者の3倍以上になるとの報告もあります。

(東京都健康長寿医療センター研究所の2011年調査)

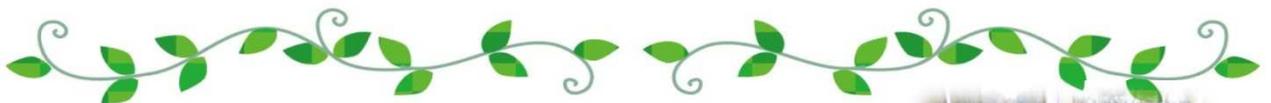


ヒートショックを予防するには・・・

身体への急激な寒暖差を防ぐには、事前の室温調整が大切です。また、何よりも家族の気配り一つが、命を救います。ヒートショックを予防する方法について、家族みんなで確認しましょう。

- ①シャワーでお湯はり ⇒ 高い位置からシャワーで浴槽にお湯をはることで、浴室全体を蒸気で暖めることができます。
- ②日没前の入浴 ⇒ 外気が冷え込む前の入浴を心がけ、比較的暖かい時間を選んで入浴しましょう。
- ③熱すぎない湯温設定 ⇒ 寒い季節であっても、熱い湯はヒートショックの原因になります。41度を目安にお湯の温度設定を行いましょう。
- ④食後や飲酒時は避ける⇒ 血圧が下がりやすい飲酒時や食後の1時間以内の入浴は避けましょう。
- ⑤家族の見守り ⇒ 特に危険因子の高い高齢者の入浴については、家族がしっかり見守り、また入浴時間の管理を行いましょう。

豊岡市消防本部HPより引用
http://119.city.toyooka.lg.jp/contents_detail.php?frmlid=1529



病院の門松

平成26年の年末から、毎年、手作りの立派な門松を山田政寛（徳成）さんより寄贈いただいています。今年も1月11日まで正面玄関前に飾らせていただきました。

心から感謝し、皆様にとって幸多き年となりますようお祈りいたします。



外国人患者対応講習会を開催しました

9月18日（火）、病院スタッフに向けた外国人患者対応講習会が行われました。当院を利用する外国人患者も増えてきており、予定されている市内国際イベント等による訪日客の増加で今後さらに外国人患者が増えることも予想されることから、来院の際の対応ミスや医療費未払等のトラブルを未然に防ぐことを目的に実施されました。

国際交流員の Kate Ellerhorst（ケイト）さんを講師に、世界の医療制度や文化の違いについてケーススタディのほか、医療現場で役立つ英語対応のレッスン等もあり、有意義な講習会となりました。なお、講習会で要望の高かった「外国語指さし会話シート」を当院の各窓口に備えたほか、キャッシュレス決済（クレジットカード利用）や、病院ウェブサイトにも英文ページを追加するなど、誰でも安心して医療を受けられる環境づくりをすすめています。



富山県医学会優秀賞・北陸三県国保地域医療学会表彰

① 第72回富山県医学会優秀賞

第72回富山県医学会において、診療技術部薬剤科 薬剤師 譲原千広さんがポスター発表され優秀賞に選ばれました。内容は『疑義照会の簡略化による医師の業務負担軽減への取り組み』として、当院と保険薬局が連携し疑義照会事務の簡略化を行い、医師と保険薬局薬剤師の業務負担軽減に取り組んだものです。これにより、患者さんへの円滑な医療サービスの提供に貢献できました。

② 第50回北陸三県国保地域医療学会表彰

第50回北陸三県国保地域医療学会において、診療技術部放射線室 放射線技師 本田優樹さんが、『診断用X線防護衣の管理方法改善と廃棄基準設定の取り組み』として研究発表し、表彰されました。職員が放射線検査で着用する防護衣がどの程度破れた場合に廃棄するべきか検討したことで、職員が安全に放射線検査を行える環境作りができました。

14歳の挑戦



今年も7月・10月に、井口・城端・吉江・福光の4つの中学校から10人の生徒が「14歳の挑戦」に挑みました。職業体験するのは病棟をはじめ薬剤科、リハビリテーション室など9部署で、毎日違う部署に行き病院職員の働き方を見聞きしながら体験していただきました。

生徒の皆さんからは、「挑戦を通して患者さん1人にいろいろな部署の職員が関わり、大変な仕事であるが、積極的に楽しく患者さんの気持ちになって活動できた」

「将来、病院職員を目指したい」といった感想がありました。

新人紹介

★5階病棟 看護師 竹内晴香

知識や技術が未熟でわからない事が多く、くじけそうになりますが、先輩方に助けていただき頑張っています。

これからは、看護師の魅力に気づけたらいいなと思っています。



★4階病棟 看護師 岩崎日向

コミュニケーションを大切に、患者様に寄り添った看護を提供できるように、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。まだわからないことが多く不慣れな事ばかりですが、よろしくお願ひします。



お知らせ

☆☆乳がんのしこりを体験してみませんか？☆☆ 自己触診の正しい方法を知っていますか？

放射線室では、乳がんの早期発見や乳がん検診の必要性などの啓発を目的に出張講座を行っています。数名程度の会でも出張いたしますのでお気軽にご依頼・ご相談ください。

【講座内容】

- ・乳がんのしこり体験
- ・自己触診方法（自分の乳房をさわって調べる方法）について
- ・乳がん・乳がん検診について

参加者の疑問や質問にもお答えしています。



【お問い合わせ】 公立南砺中央病院 事務局 0763-53-2211

採用情報

公立南砺中央病院職員募集

【受付期間】 随時

【採用予定日】 ①2019年 7月1日 (申込み 2019年 4月末まで)
②2019年10月1日 (申込み 2019年 7月末まで)
③2020年 1月1日 (申込み 2019年10月末まで)

【募集人員】

看護師 10名程度
薬剤師 1名程度
臨床工学技士 1名程度
言語聴覚士 1名程度
診療放射線技師 1名程度

【受験資格】

- ・採用職種の免許を 取得済 又は 2019年3月31日までに採用職種の免許取得見込み

【受験申込先及び問い合わせ先】

南砺市医療課 〒932-0293 富山県南砺市北川166番地1
(南砺市地域包括ケアセンター内) TEL(0763)23-1003 FAX (0763)82-1330

